

令和7年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立東小路小学校

令和7年4月

## 大阪市立東小路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

【最重要目標1】においては、

- ・ SKIPの連絡掲示板を有効活用したり、隔週で職員ミーティングを実施したりするなど、喫緊の課題を共通理解し、課題に対して全教職員で取り組む体制づくりができた。今年度は、さらに連絡掲示板等、ICTを有効活用していく。
- ・ スクールライフノートの「心の天気」を毎日入力するようしたり、「いいとこみつけ」に全教職員が気づいたことをその都度記入したりすることで、児童理解を深める。
- ・ 体験活動を重視する方向は変わらず、全学年において発達段階を考慮しながら実施していく。
- ・ 従来 of 行事や活動を新しい形に進化させながら、より地域に開かれた教育活動になるよう取組を進める。
- ・ 人権教育の実践を通じて、自尊感情を高める取り組みを進めた。今年度は、「いじめ・いのちについて考える日」を「いじめ・いのちについて考える週間」として期間を拡張し、自他ともに大切にす意識を一層高められるようにする。
- ・ 国際クラブに結集する児童の輪を広げるとともに、外国にルーツのある児童のアイデンティティを高められるように、外国人教育について計画的に実践していく。
- ・ 令和5年度に初めて校下にある幼稚園と1年生との交流会を実施することができた。令和7年度は、学校園間で情報交換や園児・児童・生徒との交流を活発に行うなど、幼小連携や小中連携をさらに推進し、児童がスムーズにステップアップできるようにする。

【最重要目標2】においては、

- ・ 研究主題の達成に向けて、昨年度は算数科において指導法の工夫や研究を教員全体で進めることができた。今年度は図画工作科に変更するが、引き続き子どもたちが楽しんで取り組むことができるよう、主体的・対話的で深い学びにつながるような研究を推進していく。
- ・ 昨年度の全国体力・運動能力調査では、持久力に加えて柔軟性に課題があることが結果から明らかになった。令和7年度は、瞬発力を高める運動を継続的に取り入れる。
- ・ 基本的な生活習慣のうち、特に「早起き」について取組を進めるとともに、給食について関心を高め、健やかな体づくりをめざす。

【最重要目標3】においては、

- ・ 学習動画コンテンツ配信モデル事業を活用し、家庭学習用としても一人一台学習者用端末を積極的に使用していく。
- ・ 今年度も、教員のニーズに応じたメンター研修を計画的に実施していく。
- ・ ゆとりの日には会議を設定せず、会議の開始時刻を繰り上げたり、ペーパーレス化に努めたりするなど、働き方改革を強力に推進していく。
- ・ 図書委員会と学校司書を中心にして、読書週間等の取り組みを充実させることで、児童が本に親しむ機会を増やす。
- ・ 学校だよりや学校ホームページ、ミマモルメメールによる発信を継続していき、ともに学校をつくっていくという意識を高めていく。

学校行事を中心に委員会活動や縦割り活動等特別活動での取組を通じて、児童の発信力を高めるとともに、児童一人ひとりが生き生きと学校生活が送れるように取り組んでいく。さらなる教職員の働き方改革を推進し、教員の超過勤務時間の減少をめざしながら、急速に進む若手教員増加に伴う人材の育成にも力を注げるように「運営に関する計画」を策定し、実現をめざしていく。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、90%以上にする。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、92%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を35%以上にする。
- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を62.6%以上にする。
- ・規則正しい生活を身に付けている児童の割合(全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を令和7年度調査において89%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。
- ・令和7年度末の教員の勤務時間の上限に関する基準1(月間45時間未満)を満たす教職員の割合を56.4%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を、97%以上にする。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査の「学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、97%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、53%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を74%以上にする。
- ・令和7年度末の小学校学力経年調査で、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きていますか」の子どもの肯定的な回答の割合を89%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（月間45時間未満）を満たす教職員の割合を59%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立東小路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を、97%以上にする。(R6; 96.6%)</li> <li>令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。(R6; 89.8%)</li> <li>令和7年度の小学校学力経年調査の「学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、97%以上にする。(R6; 96.2%)</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員室に情報が集約されるよう、どんな些細なことでも何かあれば職員室に伝えることやS K I P機能を活用して、最新の児童情報を共有する。</li> <li>児童が安心できる居場所を学校につくるため、全ての教職員で見守る体制をつくる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>隔週で実施する職員ミーティングや教員用端末の連絡掲示板等を活用して情報共有をし、全教職員で課題に対応する。</li> <li>児童が「心の天気」(特に下校前)に毎日入力したり、学級担任だけではなく、関りのある教員全てが「いいとこみつけ」の機能を活用したりすることで、児童の心情の変化を早期に発見したり、児童の長所を多面的に捉えたりできるようにする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育の年間計画を立て、計画的に実施する。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練(火災、地震・津波、台風、不審者対応)を年間4回実施する。</li> <li>区役所や消防署はもとより、地域防災リーダーや地域のボランティア団体とも連携し、防災学習の内容を充実させる。また、災害時児童引き渡し訓練を実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最近、急速に増えている外国からの編入生に対して、安心した教育環境を保障し、サポート体制を整える。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度末の児童アンケートにおいて「自分も人も大切にしている」の子どもの最も肯定的な回答の割合を81%以上にする。</li> </ul>	

<p>取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての教育活動を通じて、「自分も人も大切に」「自分でしっかり考えて行動する」ことを意識し、子どもの自尊感情を高める。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度末の児童アンケートにおいて「自分も人も大切にしている」の子どもの肯定的な回答の割合を97%以上にする。</li> <li>令和7年度末の児童アンケートにおいて、「自分でしっかり考えて行動する」の子どもの肯定的な回答の割合を92%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年に応じた「体験活動」を通じてキャリア教育を充実させ、将来の夢や目標を持てるようにする。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年「あべのハルカス」、4年「ごみ焼却場」「科学館」「防災センター」、5年「新聞社」「ハグミュージアム」「下水道科学館」、6年「ピースおおさか」「キザニア」などでの体験や見学を通して、それぞれの学習内容の理解を深める。</li> <li>2年「まちたんけん」、3年「スーパーマーケット見学」、4年「水道教室」、5年「電気自動車」、6年「租税教室」や「トップアスリート夢・授業」など、様々な職業について知る機会をつくり、将来について夢をもてるようにする。</li> <li>全学年で生野区の施策の「生きるチカラまなびサポート事業」を活用して、児童が自分の将来を前向きに考える環境づくりを促進する。</li> <li>令和7年度の小学校学力経年調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を82%以上にする。</li> <li>芸術鑑賞を通して、本物のすばらしさを体感する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際クラブの活動を含めて、外国人教育を各学年で取り組み、隣国の歴史や文化について知り、人権を尊重する教育を推進し深めていく。</li> <li>総合的な学習の時間と他教科との関連を図り、多文化共生教育を推進する。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間5時間以上の学習の機会を持ち外国の歴史や文化を知り、人権の大切さを理解する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校園間で情報交換や園児・児童・生徒との交流を活発に行うなど、幼小連携や小中連携を推進し、児童がスムーズにステップアップできるようにする。</li> <li>開かれた学校をめざして、地域と児童が交流する場を設定する。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年は幼稚園との交流会を開いたり、6年は中学校のオープンスクールに参加したりして、異校種間での交流を図る。</li> <li>4・5年は、グラウンドゴルフを通じて、地域の高齢の方との交流を図る。</li> <li>2・3年は、町たんけん、校区たんけん地域のお店の人たちとの交流を図る。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

## 大阪市立東小路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、53%以上にする。(R6; 52.8%)</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を74%以上にする。(R6; 73.3%)</li> <li>・令和7年度末の小学校学力経年調査で、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きていますか」の子どもの肯定的な回答の割合を89%以上にする。(R6; 76.1%)</li> </ul>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科・算数科の基礎学力の定着を図る。</li> <li>・研究主題の達成に向けて、図画工作科において指導法の工夫や研究を教員全体で進める。主体的・対話的で深い学びにつながるよう研究を推進していく。</li> <li>・授業や様々な教育活動で、一人ひとりが自分の考えを発表したり、他の人の考えを聞いたりして、意見を交流する時間を設定する。(ペアやグループ学習など)</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究会を伴う研修会を年間6回以上実施する。</li> <li>・朝の学習で、1学期は毎週火・金に計算・漢字タイムを設定し、基礎・基本の更なる定着をめざす。2学期以降は、図工科の基礎的な力が身につく取組を推進する。</li> <li>・令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を、53%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や様々な教育活動で、「自分の思いや考えをすすんで表現したり発表したりする」「失敗してもくじけず、何度でも挑戦している」ことを意識して学習意欲を高める。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度末の児童アンケートにおいて、「自分の思いや考えをすすんで表現したり発表したりする」の子どもの肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> <li>・令和7年度末の児童アンケートにおいて、「失敗してもくじけず、何度でも挑戦している」の子どもの肯定的な回答の割合を85%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業や体育的行事等で、児童の体力の向上を図り、特に瞬発力を高める。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度の校内の運動能力調査のうち、立ち幅跳びについて春季と冬季に二度実施し、3年～6年において冬季の記録を春季より2ポイント以上向上させる。</li> </ul>	

<p>取組内容④【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身につけるよう指導し、家庭にも啓発を行う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度末の児童アンケートで、「給食に興味をもっていますか」の子どもの肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> <li>令和7年度末の児童アンケートで、「早起きをして規則正しい生活をしている」の子どもの肯定的な回答の割合を82%以上にする。</li> <li>令和7年度末の小学校学力経年調査で、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きていますか」の肯定的な回答の割合を89%以上にする。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	



## 大阪市立東小路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。(R6; 4.4%)</li> <li>・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1(月間45時間未満)を満たす教職員の割合を59%以上にする。(R6; 58.3%)</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じて学習場面で、必要に応じてデジタル教材を活用し、教育効果を高める。特に、高学年においては、プレゼンテーション力を高められるようにする。</li> <li>・各学年の児童の実態に応じて、プログラミングを学習し、系統立てた取組を進める。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者用端末を活用した学習(デジタルドリル navima や学習動画コンテンツによる家庭学習等)を日々実施し、令和7年度末の校内調査の「毎日学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、90%以上にする。</li> <li>・スクラッチやビースケットなどのプログラミングアプリを活用し、系統立ててプログラミングのスキルを伸ばす。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教員としての資質の向上に関する指標」に基づいた、キャリアステージに対応した研修を体系的・計画的に実施する。</li> <li>・教員の長時間勤務の解消をめざし、教員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができる環境の実現をめざす。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンターを中心とした教員の授業力を向上させる取組を定期的に行う。</li> <li>・ゆとりの日の週1回の設定と時差勤務制度の活用で、教職員のワークライフバランスを推進する。</li> <li>・教員の勤務時間の上限に関する基準1(月間45時間未満)を満たす教職員の割合を59%以上にする。</li> <li>・ミマモメのメール配信、配付物のペーパーレス化等、学校と家庭がリアルタイムでの情報共有化の促進。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館開放を定期的 to 実施し、児童が自主的に本に親しむことができるようにする。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会の活動を充実させ、全校児童が本を親しむ機会を積極的に設ける。</li> <li>・令和7年度の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を75%以上にする。</li> <li>・令和7年度末の校内調査において、児童1人当たりの学校図書館年間貸出冊数を30冊以上にする。</li> </ul>	

<p>取組内容④【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協同した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営や日々の教育活動について保護者や地域に対して、ミマモルメのメール機能を活用し、学校ホームページを日々更新するなど積極的な情報発信により、開かれた学校づくりに取り組む。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度末の保護者アンケートにおいて「学校は、学校だよりや学年だより、学校ホームページ等で学校や子どもの様子をよくわかるようにしている」の肯定的な回答の割合を90%以上にする。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	